支えあう心 11/11は介護の日

今月は「介護の日」にちなみ、阿蘇温泉病院の介護主任会・取り組み・職員などをご紹介します。

介護主任会とは？

Ｈ２２年４月より本格始動した会で、６つの病棟の介護主任および副主任の全７名で構成されています。月に１回会議を行い、よりよき介護をご提供できるようにしています。

＜支え合いの心＞

介護主任会ができるまでは各病棟がそれぞれに動くという場面も多かったのですが、４月からは互いに情報を交換したり集まって決め事をしたりと、より連携が取れるようになりました。そして、みんなが集まればその分多くのアイデアが出るので、それを基に業務の改善を図り、仕事がしやすい環境にする工夫も行っています。

院内で行事が行われる際には介護職みんなで協力し合い、患者様の移動や役割決めなどもスムーズに行うことができるようになりました。

まずは病棟スタッフで協力し合い、そしてある時は全体で取り組み、「支えあいの心」で患者様それぞれに合った介護が提供できるようにしています。また、患者様の身体に直に接するので細心の注意を払いながら「気づく目と心配り」で安心感を持っていただけるようにしています。さらに「報告・連絡・相談」も徹底し、安全第一に頑張っています。

＜入浴とその介助＞

一言で入浴といってもその仕方は多様で、色々な病気や怪我に対応するので、その分多くのスタッフが必要です。そこで現在は、病棟の垣根を越え、当番制で入浴介助を行うことにしています。そうしてからは怪我や事故も減り、今まで以上に安心して入浴していただくことができています。また、スタッフ間のコミュニケーションの場ともなっています。

2階東病棟
ケアワーカー
上島 広宣さん

上島さんは当院勤務21年目の介護職です。所属は2階東病棟ですが、入職以来、入浴する方の送迎を全病棟分担当しています。

とても明るく、どなたとでもお話できる上島さんは高齢の入院患者様の人気者です。

＜性別関係ありません＞

当院の病棟介護職は全部で５１名います。その内訳は男性が１５名、女性が３６名です。

介護職の仕事は食事の配膳、入浴介助、オムツ交換など力仕事から細かい仕事まで多岐にわたっていますが、力が必要だから男性がする…細かい作業だから女性がする…というわけではありません。男性も女性もそれぞれがどの仕事でも行っています。ですから、女性的な男性やたくましい女性など様々です。皆で力を合わせ取り組んでいます。

＜向上心を忘れない＞

４階東病棟介護職の工藤将富さんをご紹介します。工藤さんは現在、菊池郡市医師会立看護高等専修学校の２年生で准看護師の資格取得を目指しています。

介護という新たな職に就き、初めは戸惑いも多かったのですが、仕事をしているうちに患者様とふれあうことの楽しさややりがいを感じ資格取得を決意しました。

実際に学校に通いだすと、通勤通学の遠さに嘆いたり授業内容が専門用語ばかりで聞き取れなかったり、実践でのケアが難しかったりと大変なことも多く、辞めたいと考えることも何度かありましたが、病棟師長やスタッフ、そして子どもの面倒を見てくれる家族の支えのお陰で頑張ることが出来ています。

いよいよ試験まであと４ヶ月となりました。実習も大変ですが、最後までしっかりとやり遂げたいと思います。そして、ゆくゆくは看護師の資格も取得したいと考えています。将来、患者様に信頼されて安心していただけるケアが提供できるようになりたいです。

４階東病棟　工藤 将富

そとがき

基本理念

よりよき人間性を
よりよき環境を
よりよき医療を

「阿蘇温泉病院」
電話 32-0881

「桃花水」
電話 32-5250

「愛・ライフ内牧」
電話 32-5511

「春草苑」
電話 32-4021

「茶寿苑」
電話 32-3955

歌って 元気に 健康に！
～音楽療法講演会のご報告～

10月26日、南阿蘇村教育委員会からの依頼で、当院の音楽療法士　大塚知世さんが講演を行ってきました。今回は60歳以上の方、約200人を対象に「音楽療法とは？」というテーマで約1時間30分にわたり講演しました。

講師が初めての大塚さんは少し緊張気味でしたが、講演が始まると水戸黄門の歌や体操を取り入れながら、歌うことがどのように体に良いのかなどを説明していました。

参加者の皆さんも歌や演奏で積極的に参加してくださり、とても有意義な講演会となりました。

《初めての講師を経験して》

阿蘇温泉病院　リハビリテーション科
音楽療法士　大塚　知世

今回の講演は、私にとって音楽療法を人前で説明させていただく初めての機会でした。大人数の前でお話させていただくことも初めてで、つたない講演だったと思いますが、南阿蘇の皆さんはとても温かく迎えてくださいました。

皆さんと歌ったり話したりできる時間は限られていましたが、音楽療法について話せて、また一緒に歌ったり演奏したりして、楽しい講演ができて嬉しく思います。本当にありがとうございました！

歌や体操で
音楽療法について
知っていただきます

参加者との対話から
話しが広がります

「そとがき」とは外輪山を意味する古語です。

坂梨会ホームページアドレス　http://www.asospahp.jp/

１１月の診療予定

小児科	26日(土) 16:00まで受付	歯科	12日(土) 休診 29日(火) 休診
耳鼻科	15日(火) 16:00まで受付 17日(木) 18日(金) ＞学会のため休診	内科	14日(月) 戸上先生 休診

小児科からのお知らせ

１２月５日(月)より、医師２人体制になりますので、新しい先生をご紹介します。

＜先生のご紹介＞

まつもと　ともあき
松本　知明先生

診療日は月曜日と水曜日です。

＜診療日程＞

月	火	水	木	金	土
松本	芳賀	松本	芳賀	休診	芳賀

愛・ライフ内牧「文化祭」

日時:11月18日(金)
19日(土)
20日(日)
場所:愛・ライフ内牧

入所者・通所者・職員の作品も多数展示します。

18・19日の13時45分からはステージでの出し物もあります。
ぜひご来場ください

阿蘇温泉病院「運動会」

日時:11月17日(木)14時から
場所:リハビリ室にて

玉入れや綱引き、リレーなど
患者様が一生懸命頑張ります。
応援、お待ちしております♪

一言コラム～「滴水窒」

《手放せぬTシャツ》

私の手許に未だに手放せぬ古ぼけた1枚のTシャツがある。背には米国の星条旗をモチーフに「FDNY」の文字があるが、「ニューヨーク消防局」の略。胸元には図案化された「F・D・N・Y」と「半鐘」に「梯子に火消し棒」も可愛く収まっている。これは10年前の暮れにニューヨークで求めたもの。その年の9月11日にはご承知の同時多発テロが勃発。一瞬のうちにツインタワーは崩れ落ちた。悲しい出来事だった。続く…　（舟）

この部署 この人

〈言語療法室〉
歯科衛生士　岩見 明美
言語聴覚士　山本 真理
言語聴覚士　井上 愛
言語聴覚士　橋口 千穂
言語聴覚士　下崎 由美子

今月は言語療法室の皆さんです。言語療法室では様々な原因で言葉やコミュニケーション、食べる事にお困りの方に対する支援を行っています。今回は、院内でも「美人」と評判の井上さんに訓練にまつわる“あるエピソード”を教えてもらいました。

「以前、全く食べることのできなかった方が『一口だけでいいから何か食べたい』ということで長期間にわたって訓練に励まれていました。その後、ようやく食べ物を口にする日が来ましたが、その時にご家族と共に立ち会えたことは大きな喜びでした。そして改めて『食べることの意味』を深く考えさせられ、また同時に患者様の笑顔が仕事の原動力となっていることを実感しました。」ということでした。

最後に「様々な想いを抱えながら生活されている患者様やご家族の気持ちに寄り添いながら、共に歩む姿勢をいつまでも忘れないようにしたいです。そして、地域に貢献できるようスタッフ一同頑張りますので、何かお困りの際は、お気軽にご相談ください。」と話してくれました。

編集後記

朝晩冷え込みますので、体調管理には十分お気をつけください。　（広報課）

4コマ漫画の担当は野尻史子さんです。